

西光寺だより

第一六三号 令和六年 三月一日発行

◆先月の報告◆

①宮崎教区都城組の仏教壮年会員の方が、「私が初めてお寺に行った時に感じたことが『お寺の敷居が高い』こと。その高さを感じなくなつたのはご住職や坊守さん、そしてご門徒の方や役員の方々、周りの方々から声をかけていただき、法要行事に参加させていただいたおかげで、身近に感じることができました。」と。色々なお声がけで

「居場所が見つかる」と活動事例集に掲載されました。

各寺院ではさまざまイベントを実施して、お寺に足を運ぶ機会を設けています。

西光寺におきましても先日おでんを実施し近隣の方やご門徒の方に来ていただきました。地域と寄り添いながらご縁を深められたらと思うひと時でありました。ありがとうございます。そして前日からおでんの仕込みに手伝っていただきましたご門徒の皆さま、この場をお借りしまして、本当にありがとうございます。

合掌



②2月28日(水曜日)、生涯学習センターきらめきホールにて、茨木東組 親鸞聖人御誕生八五〇年 立教開宗八百年慶讃法要を、厳修致しました。

あたたかな日差しに恵まれ、晴れ晴れした気持ちでこの時を迎えることが出来ました。当初の人数よりも多い約350名もの皆さまに来ていただきました。本当にありがとうございます。また近隣の寺院の方や関係者の皆さまありがとうございました。

茨木東組17カ寺の寺院のご住職が集まり、多くの華吧を散りばめながら、なじみのある正信偈のお勤めに音楽をつけてのお勤めでありました。

引き続き鍋島先生のご法話、浄土真宗のみ教えを大学の先生の視点からお話ししていただきました。

最後には女性だけのミュージカル劇団である、劇団音芽(おとめ)による親鸞聖人のご生涯をミュージカルで演出し、はじめてみる劇に感動したことあります。構成の中に迫力のある芝居と歌声に、生で見る劇の素晴らしさに感動したことあります。

改めて親鸞聖人がおられたからこそ、皆さまとお出会いするができたという感謝と、変わることにない阿弥陀さまへの感謝を味わえたことあります。

こういう催しだからこそ醍醐味と、皆さんで一つのものを完成する団結力をこういう時代に感じる事ができたこと、改めて皆さまに感謝したいと思います。本当にありがとうございます。これからも浄土真宗のみ教え広めていきたいと思えます。

そして各団体、西光寺仏教婦人会の皆さま、早くから受付や接待など多方面に動いていただきました感謝であります。ありがとうございます。



◆三・四月の行事◆

三月 十九日(火)

仏教婦人会追弔会・総会

午前十一時三十分から追弔会(正信偈)

午後十二時〜 お齋

午後一時〜 総会

西光寺本堂

四月 一〇日(水)

追弔会・春季永代経法要

午後二時・午後七時

西光寺本堂

◎御講師 高島 幸博 師(本願寺派布教使)

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一―七―二

電話 〇七二―六二二―四七九四

FAX 〇七二―六二二―九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>